





# Fビル「竹の塚公共駐車場」は廃止



竹の塚公共駐車場(竹ノ塚5丁目)

12月議会では、竹の塚5丁目にあるジョイビル(F・元自民党足立総支部長)の地下につくった竹の塚公共駐車場を廃止しました。

1994年(平成6年)足立区都市活性化センターが7億34

## 日本共産党の追及でムダ使いをなくしました

00万円の費用をかけて建設し、区はFビルの付置義務31台分の賃借料と地代

とあわせて、F氏側に毎年1100万円、この間約4億円の支払い。指定管理により7年間で1億8000万円を支払う、固定資産税免除は年140から150万円(計9000万円)など特定業者にいたれりつくせりの優遇を長年続けてきました。

日本共産党は建設当時から特定業者優遇のムダ使いを議会で繰り返し追及。10月の決算委員会では、「コイン駐車場ができて周辺環境が変わったこと、5年に一度の契約更新の機会を捉え、F氏と協議したい」と答弁。

ついに区も「竹の塚公共駐車場」廃止条例を提出し、ムダ使いをなくしました。



1面よりつづく

次に副担任制度についてお答えいたします。今年度からは活用計画を事前方式とし、要望申請書に具体的な計画が示されていない学校へは配置していませんが、副担任講師そのものの人員削減は行っておりません。今後とも申請方式により配置してまいります。

次に教員の持ち時間についてお答えいたします。教員の標準持ち時間数については、東京都教育委員会により定められており、区教委や学校の判断で持ち時間数の削減等はできません。今後、調査報告書のご指摘を真摯に受け止め、可能な限りの対応に努めてまいります。

## 「エリアデザイン」で4地域を新たな開発

区は千住、綾瀬、江北、六町を「新たな開発が見込まれるエリア」として、「区有地などの効率的な活用」を図り、「民間投資による街づくりを戦略的に誘導」し、新たな開発に乗り出そうとしています(平成25年から27年に計画策定予定)。

【綾瀬地域】 駅東口の旧こども家庭支援センター用地を活用。民間施設導入を方針に、収益事業が展開できるかどうかという観点でしか検討を行なわない開発優先ぶりです。

前議会に続き与党は、12月議会の代表質問でも「ホテル」を執拗に求めています。区民の大切な財産である区有地なのに区民の意見や地元の「図書館や集える施設を」の声は全く聞こうとしていません。

【六町地域】 駅前用地3,640㎡の活用構想を策定しています。

【江北地域】 都営住宅建替え創出用地37,000㎡の活用。江北駅前の高野小学校など統廃合で学校を廃校にし、その跡地活用をねらう(も含めた)、子どもよりも開発優先の計画です。

【千住地域】 地域全体を「エリア」とし、「民間投資による戦略的まちづくり」を行なうものです。

日本共産党は、開発すべてに反対ではありません。しかし、「財政難」であるかのように強調し区民には我慢を強いるなか、区民の声も聞かずに進める開発はやめるように求めました。



住民賛歌



写真は街角で「暮らし守れ!」と都議選、参院選で奮闘した区民のみなさん

